



防災訓練マニュアルの作成

Q

防災訓練の実施方法を書いたマニュアルを作ってほしい。

A

各 自主防災会には、概略的な防災訓練のマニュアルをお渡ししてありますが、もう少し具体的な内容を盛り込んだマニュアルを作成するよう検討していきます。

防災無線の雑音

Q

防 災無線の放送終了時に、聞きづらい雑音が入るが消せないか。

A

お 聞き苦しい雑音が入り、ご迷惑をおかけしていますが、現状ではこれを消すことは無線機の機能上不可能です。

来年度から、各地区に設置されています「子局」の更新を計画的に行いますが、これと合わせ、この問題も解決していきたいと考えていますのでご理解ください。

避難場所は大丈夫？

Q

地 域防災計画書を見ると、谷村地区は谷一小が避難場所になっていますが、あの体育館に谷村地区の住人二千五百人が入れるのでしょうか。

A

地

震などの災害時における避難場所は、校庭、グラウンド、広場など屋外の安全な場所を指定してありますが、中・長期化する災害時の避難場所については、当然屋内も視野に入れた対応をしていかなければなりません。谷村地区に限らず各地域の方々が避難する屋内の場所は、体育館が充てられることとなりますが、それではまかないきれないケースもありますので、今後各自主防災会との話し合いを持ちながら、最善の方策を考えていきます。

広報が読みづらい

Q

広 報の文章が難しくて読みづらい。また、広報と一緒に配布するチラシ類が多すぎます。

A

分

かりやすい言葉や表現を使い市民の皆さんが読みやすいように心がけていますが、まだ不十分な点があったようです。今後は、さらに注意を払い作成していきたいと思っています。

納税組合奨励金に見合う還元を・・・

Q

納 税組合へ、約一千五百万円の奨励金を支出していたと聞いていますが、組合が無くなっってしまった今、その一部でもいいから自治会に振り分けることはできないでしょうか。

A

納

税組合の解散時に、これに見合うものを還元しますと説明をしました。その後、多くの市民の皆さんからご意見をいただき検討してきた結果、来年度から自治会を単位としたまちづくり活動への助成として、新たな制度を

また、配布物につきましては、自治会連合会からのご指摘もあり、最近ではできるだけし類の配布は避け、その内容を広報に掲載するようにしています。なお、市議会だよりや市税の納期一覧表など、どうしても配布しなければならぬものもいくつかあります。その際は、ご理解いただき配布についてご協力いただきますようお願いいたします。